



2022年3月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署



羽田空港貨物取扱量

総取扱量は2ヵ月連続減、積込量は3ヵ月連続減、取卸量は12ヵ月ぶりに減

概要

2022年3月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

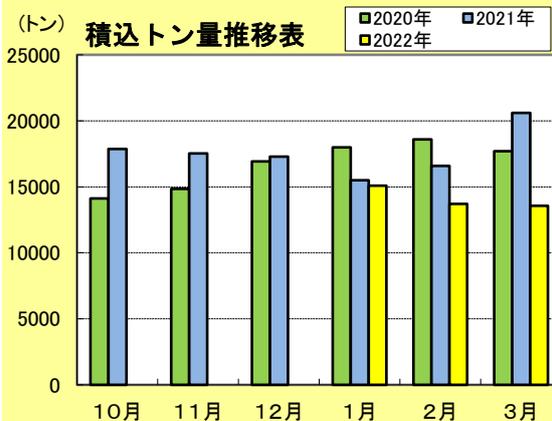
総取扱量 27,369トン(前年同月比 29.6%減)

積込量 13,566トン(同 34.1%減)

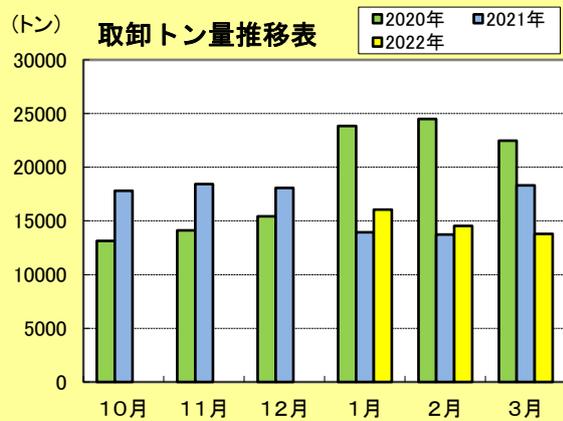
取卸量 13,803トン(同 24.6%減)

となり、前年同月比でみると、総取扱量は2ヵ月連続、積込量は3ヵ月連続でマイナスとなり、取卸量も12ヵ月ぶりにマイナスとなった。

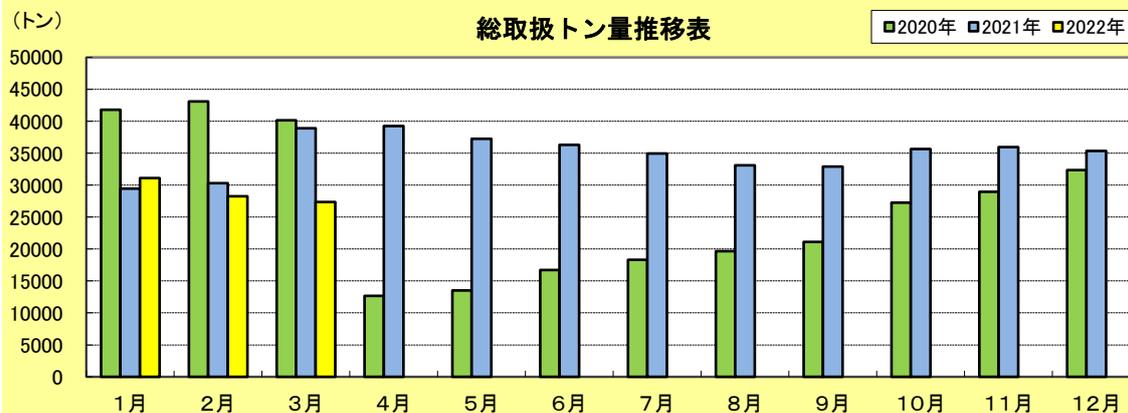
(トン) 積込トン量推移表



(トン) 取卸トン量推移表



(トン) 総取扱トン量推移表



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出货量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 817トン(前年同月比 21.9%減、シェア 9.6%)

その他地域通関 7,658トン(同 24.9%減、同 90.4%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関は13カ月ぶりにマイナス、その他地域通関は2カ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 4,199トン(前年同月比 22.3%減、シェア 47.8%)

その他地域通関 4,590トン(同 21.2%減、同 52.2%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、12カ月ぶりにマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 5,091トン(前年同月比 45.6%減)

取卸量 5,014トン(同 29.2%減)

となり、前年同月比でみると、積込量は4カ月連続でマイナス、取卸量は3カ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年3月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,062トン(前年同月比 10.2%増、シェア 25.3%)

ドライ貨物 3,137トン(同 29.3%減、同 74.7%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等44%(前年同月比35.9%増)、水産物14.7%(同55.2%減)、果物16.9%(同168.5%増)、植物(切花等)13.8%(同65.8%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年3月			2021年3月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	4,199	77.7%	100.0%	5,403	78.8%	100.0%
生鮮	1,062	110.2%	25.3%	964	64.1%	17.8%
ドライ	3,137	70.7%	74.7%	4,439	82.9%	82.2%